

ニッペ Hi-CRデラックスエコII

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆、鉛・クロムフリーの合成樹脂調合ペイント
建築内外鉄部、木製付帯部の仕上げに適しています。

■ 特長

- ① JIS K 5516 1種 合成樹脂調合ペイント に合格しています。(つや有り)
- ② ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆のため、室内での使用制限がありません。
- ③ 鉛・クロムといった有害重金属を配合しない環境配慮形の合成樹脂調合ペイントです。
- ④ 作業性、仕上がり性に優れ、美しい仕上がり感が得られます。

■ 用途

建築内外鉄部、木製付帯部の上塗り仕上げ

■ 原色

ブラック、オーカー、インディアンレッド、
フレッシュブルー、タフレッド、黄(無鉛)

■ 容量・荷姿

| 塗料名 | つや | JIS表示 | 系統 | 容量 | 色相 |
|----------------|--------|---------------|------------|-------------|----|
| Hi-CRデラックスエコII | つや有り | JIS K 5516 1種 | 合成樹脂調合ペイント | 16kg 4kg | 各色 |
| | 7分つや有り | — | | | |
| | 5分つや有り | | | | |
| | 3分つや有り | | | | |
| | つや消し | | | | |

注)本製品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と店頭にて調色していただくための非JIS表示があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご提示ください。

■ 標準塗装仕様(新設)

● 一般鉄部の場合

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 |
|------|---|------|---------------------------|---------------|----------|--------|------------------------|
| 素地調整 | 電気工具を主体とし、SSPC、SP-3(ISO St3)まで除錆する。溶接部の著しい凸部は、グラインダーで平滑してから電動工具で除錆する。 | | | | | | |
| 下塗り※ | 速乾PZ ヘルゴンエコ | 1 | 0.12~0.14(注) | 16時間以上1ヶ月以内 | 塗料用シンナーA | 0~5 | はけ・ウールローラー |
| | | | 0.15~0.17(注) | | | 0~10 | エアレススプレー |
| 上塗り | Hi-CRデラックスエコII | 2 | 0.10~0.12(注) | 16時間以上 | 塗料用シンナーA | 0~10 | はけ・ウールローラー エアレススプレー |

※上記の速乾PZヘルゴンエコ以外に、超速乾型PZヘルゴンエコ、1液ハイボンファインデクロ、ニッペエスパーワンエースなども使用できます。
上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

● 木部の場合

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/m ² /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤 | 希釈率(%) | 塗装方法 |
|------|--|------|---------------------------|---------------|----------|--------|------------------------|
| 素地調整 | 汚れ・付着物等は、木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等で拭き取る。やには削り取り又は、電気ごて焼きの上、溶剤で拭き取る。P120~220研磨紙で研磨後、水拭きして研磨かすを除去する。著しいやに部はセラックニスで部分補修塗装する。穴埋めが必要な場合は、パテで穴埋めを行う。 | | | | | | |
| 下塗り | Hi-CR下塗 白(無鉛) | 1 | 0.14~0.17(注) | 16時間以上 | 塗料用シンナーA | 0~5 | はけ・ウールローラー |
| 上塗り | Hi-CRデラックスエコII | 2 | 0.10~0.12(注) | 16時間以上 | 塗料用シンナーA | 0~10 | はけ・ウールローラー エアレススプレー |

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注)「速乾PZヘルゴンエコ」の塗付け量、0.10kg/m²/回です。
「Hi-CRデラックスエコII」及び「Hi-CR下塗 白(無鉛)」の塗付け量は、0.09kg/m²/回です。
・使用量:被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量
・塗付け量:被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず最寄りの営業所にご相談ください。

注)本製品は酸化反応で硬化するタイプの塗料になりますので、塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボールなど)や塗料カス、スプレーダストなどは自然発火のおそれがあります。
速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。

標準塗装仕様

| | | |
|------|-------------------------------|----------|
| 塗装方法 | はけ・ウールローラー | エアレススプレー |
| 希釈率 | 0~10% | |
| 使用量 | 0.10~0.12kg/m ² /回 | |

- 塗付け量は、0.09kg/m²/回です。
- 使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量。
- 塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量。

塗り重ね乾燥時間

| | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| | 5~10℃ | 23℃ | 30℃ |
| 指触乾燥 | 2時間 | 90分 | 45分 |
| 塗り重ね乾燥 | 2日以上 | 16時間以上 | 16時間以上 |

*乾燥時間は目安です。
使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

基本性能 JIS K 5516 1種 試験項目

| 試験項目 | 規格 | 性能 |
|----------------|---|----|
| 容器の中での状態 | かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。 | 合格 |
| 塗装作業性 | はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。 | 合格 |
| 乾燥時間(表面乾燥性) | 16時間以内 | 合格 |
| 塗膜の外観 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 | 合格 |
| 隠ぺい率(白および淡彩/%) | 90以上 | 合格 |
| 促進黄色度(白について) | 0.20以下 | 合格 |
| 鏡面光沢度(60度) | 80以上 | 合格 |
| 重ね塗り適合性 | 重ね塗りに支障があってはならない。 | 合格 |
| 加熱残分(%) | 65以上 | 合格 |
| 促進耐候性 | 彫れ・はがれ・割れの等級は0であり、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では白亜化の等級が1以下とする。 | 合格 |
| 屋外暴露耐候性 | 1年間の試験で、彫れ・はがれ・割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化の等級が4以下とする。 | 合格 |

注)上記表は、白および淡彩のつや有りでの性能表です。

施工上の注意 Hi-CRデラックスエコII (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. 本品の下塗りにニッペ塩ビソルウレタンプライマーを使用しないでください(縮みが発生するため)。
3. 塗膜にコム系粘着剤のマスキングテープを貼り付けると、変色などが起こる可能性がありますので、ご使用は控えてください。
4. 新木の場合の乾燥程度は含水率18%以下(ケツ科社社製HM500シリーズで測定した場合)としてください。また節止めには必ずラックニス塗装してください。
5. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
6. 過剰希釈すると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
7. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつや若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
8. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
9. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
10. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつややけやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
11. 結露の著しい箇所では、JIS K 5629(鉛酸カドミウムさび止め)の上には、塗装を避けてください。
12. 長期の耐久性が必要な場合は、ファンレタランナー100をご使用ください。
13. コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けてください。
14. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
15. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
16. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
17. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を削り剥がれや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
18. シーリングの上には、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
19. 素地の乾燥は十分に行ってください。
20. 塗装面後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
21. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
22. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
23. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
24. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
25. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
26. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、彫れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
27. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
28. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
29. 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合は、スプレー塗装をしてください。
30. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
31. 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
32. 汚れ、ますなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
33. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
34. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
35. 開缶後は皮張りしやすいので、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
36. 塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボールなど)や塗料カス、スプレーダストなどは自然発火のおそれがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。
37. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
38. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 Hi-CRデラックスエコII 白

横倒禁止

1. 使用前に取扱説明書を入力すること。
2. 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
3. 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
4. 容器を密閉しておくこと。
5. 容器を接地しアースをすること。
6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
7. 火花を発生させない工具を使用すること。
8. 静電気放電に対する措置を講ずること。
9. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
10. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行うこと。
11. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
12. 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
13. 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
14. 環境への放出を避けること。
15. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
16. 本来の用途以外に使用しないこと。
17. 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
18. 特別な処置が必要である。
19. 口をすすぐこと。
20. 漏出物を回収すること。
21. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
22. ばく露又はばく露の状態がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
23. 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
24. 皮膚刺激又は発疹(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
25. 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
26. 火災の場合：消火するために適切な手段を使用すること。
27. 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
28. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
29. 施設して保管すること。
30. 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
31. 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
32. 直射日光や水濡れは厳禁。
33. 塗料等の積の積み重ねは3段までとすること。
34. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
35. 塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボール等)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火の恐れがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。
36. 塗料、塗料容器、塗料を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗料などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/吸入すると有害(麻酔作用) 眠気又はめまいのおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 北海道支店 ☎ 011-370-3101 | 近畿支店 ☎ 06-6455-9320 |
| 東北支店 ☎ 022-232-6711 | 中国支店 ☎ 082-281-2180 |
| 関東支店 ☎ 03-5479-3614 | 四国支店 ☎ 0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 | 九州支店 ☎ 092-751-9861 |
| 中部支店 ☎ 052-461-1960 | |

カタログNo.
NP-B009

AA230210T
2023年2月現在

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名、会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2023 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>